朝日新聞
埼玉少年少女スポーツ
2012年（平成24年）11月14日

深谷南が4連覇

東日本中学ラグビー 埼玉県・栃木県予選 県大会連続優勝記録13に

ラグビー

【10月21日、熊谷市】第32回東日本中学校ラグビーフットボール大会埼玉・栃木県予選が荒川緑地公園河川敷ラグビー場で行われ、深谷南が熊谷奈良を67―0で破り4連覇を果たした。これで深谷南は新人戦、関東予選、学校総体に続き県4大タイトルを全て獲得。平成21年度東日本予選からの県大会連続優勝記録を13に伸ばした。3位決定戦では深谷が寄居を48―12で勝利した。11月11日から開催される東日本大会には深谷南、奈良と3位の深谷が出場する。（記録は2面に）

前半7分、深谷南中の霜鳥優太が中央を突破してトライ

▽決勝（10月21日）
深谷南中 67（45―0、22―0）0 熊谷奈良中

	前	TGPD後	TGPD反	深谷南中	7	5	0	0	41
熊谷奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	4

遠藤竜也の先制トライが口火に

深谷南は前半1分、ゴール前の素早いリスタートからロングパスで左へ展開しレフトウィング遠藤竜也のトライで先制。同7分にはゴール前ラックからスタンドオフ霜鳥優太が中央に切り込んでリードを広げた。その後も攻撃で奈良を圧倒し、遠藤、霜鳥、鈴木駿太郎が合わせて9つのトライを追加して圧勝。遠藤は6トライの活躍を見せた。

奈良中はセンター大島洸希など走れる選手を活かしきれなかった。「こちらの仕事をさせてもらえなかった」と梨木監督。接点でボールを奪われ、攻撃の機会を作れなかった。

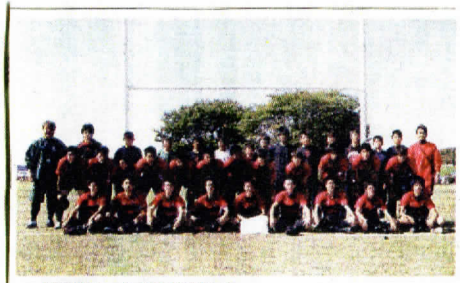
▼選手の「ラグビー偏差値高い」

奈良中の梨木信行監督が「接点ではほとんどボールを取られてしまった」とふり返るように、FW陣の活躍も大きかった。単に身体能力と技術に優れるだけでなく、宮前日出男監督が「ラグビー偏差値が高い」と評するように、選手自ら考え判断する力が強さの一因だ。監督が相手の弱点を突くボール奪取の戦術を指示すると、霜鳥主将は「分かっています」と言って説明の必要もないという。前半18分の遠藤のトライは、「（相手DFに）挟まれて、上に行くしかない」と、ショートパントで突破した。一瞬の判断力が光った。

宮前監督の「自分たちのやることをやっただけ」という言葉はこのチームの強さを率直に表したものだが、チームに「勝って当然」というおごりはない。

霜鳥主将は「先輩達が勝ってきたのを見ているので、負けられないプレッシャーがある」と言う。

（記録は2面に掲載）



優勝した深谷南中

ラグビー

■第32回東日本中学校ラグビーフットボール大会埼玉・栃木県予選会（10月21日、熊谷荒川緑地公園ラグビー場）

【対戦トーナメントの記録】

▽1回戦（10月8日）
熊谷大幡中 57―38 深谷上柴中
深谷明戸中 83―12 佐野昌平中
熊谷東中 45―29 城西川越中
立教新座中 59―0 熊谷吉岡中

▽準々決勝（10月13日）
深谷南中 76―12 熊谷大幡中
寄居中 40―22 深谷明戸中
熊谷奈良中 66―5 熊谷東中
深谷中 47―12 立教新座中

▽準決勝（10月20日）
深谷南 96（42―5、54―0）5 寄居中
熊谷 40（14―15、26―21）36 深谷中
奈良中

▽代表決定戦（10月21日）
深谷中 48（19―0、29―12）12 寄居中

▽決勝（10月21日）
深谷南 67（45―0、22―0）0 熊谷奈良中

前半18分、遠藤竜也がショートパントからトライをあげる